

一般廃棄物審議会 各委員からの意見まとめ

1 基本理念・基本方針

- ・「基本方針5 段階的にごみを減らす」について、「段階的に」ではなく、「挑戦的な」とか「大胆な」、「…目標を掲げて」をその前に付けて、ごみ減量への取り組みの意欲がはっきりと見えるようにした方がよい。《山谷会長》

2 ごみの減量化・資源化

- ・ 全国的にごみの資源化・減量化に効果をあげていて、かつ、負担の公平性の観点からも家庭系の有料化の検討。特に家庭系生ごみ処理器普及率の高い葉山町の特性を生かした有料化の検討。《山谷会長》
- ・ 新築の際には生ごみ処理スペースを設けさせる。《宮川委員》
- ・ 大規模集合住宅にはディスポーザーを設置し、生成物は集合住宅内の処理機で分解させる。《宮川委員》
- ・ 水切りを徹底させる。《宮川委員》
- ・ 収集後、水切り施設で水分を切り、水分は下水道へ。《宮川委員》
- ・ 「生ごみ処理器」を導入している家庭が少なすぎる。もっと学校や幼稚園、保育園などでも取り組んでユーザーを増やすべき。《山本委員》
- ・ 町内のブロガーに協力を仰ぐとか、ツイッターやインスタグラムなどでの広がりも画策すべき。《山本委員》
- ・ 町で行っている生ごみ処理の購入後のフォローはありがたいので続けていくべき。《山本委員》
- ・ スーパーの包装を更に簡易なものにさせる。《山本委員》
- ・ レジ袋の有料化を行う。《山本委員》
- ・ 簡易包装、レジ袋有料化について商工会からも事業者へ問いかける。《山本委員》

3 事業系ごみ対策

- ・ 事業系の減量に向けて指導を行う専従チームを安否確認収集チームとともに編成し、事業者へ自己処理責任を認識させるとともに発生抑制、資源化の推進、環境負荷の軽減についてきめ細かく助言・指導を行う。《山谷会長》

4 ごみ・資源物の収集体制について

- ・ 事業系の減量に向けて指導を行う専従チームを安否確認収集チームとともに編成する。【再掲】《山谷会長》
- ・ 集合住宅は全て専用の資源ステーションを設置する。(集合住宅近くの資源ステーションは分別が悪いため)《宮川委員》

5 ごみ処理広域化について

6 クリーンセンターの整備について

- ・ 広域の進展とともにクリーンセンターを解体し中継施設や資源化施設の整備を早急に行う。《山谷会長》
- ・ 将来、生ごみ資源化施設の整備を行う。《宮川委員》